

令和7年分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」などが増加したことから、対前年比1.3%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」などが減少したものの、「通信機」などが増加したことから、同 1.9%の増加となった。
その結果、差引額は8兆6,623億円（同 0.8%の増加）となった。

名古屋港における輸出額は、令和4年以降4年連続で過去最高を更新
名古屋港における差引額は、平成10年以降28年連続 全国港別（空港含む）第1位

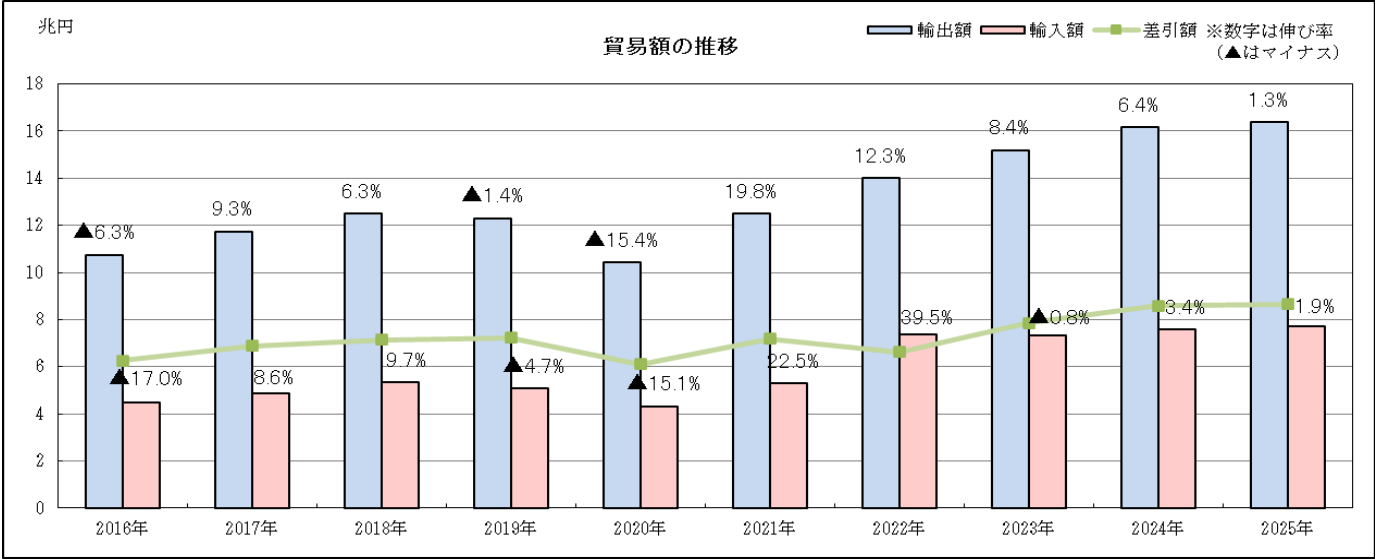
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年比による。
また、名古屋港における全ての年を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額	伸 率
名古屋港	★ 16兆3,759億円	+1.3%	★ 7兆7,136億円	+1.9%	★ 8兆6,623億円	+0.8%
	5年連続の増加		2年連続の増加		3年連続の増加	
	順位	過去 1 位	順位	過去 1 位	順位	過去 1 位
管 内（名港シェア）	25兆5,032億円（64.2%）		14兆1,993億円（54.3%）		11兆3,039億円（―）	
全 国（名港シェア）	110兆4,480億円（14.8%）		113兆0,987億円（6.8%）		▲2兆6,507億円（―）	

○主な増減品目

	概 況	品 名	金 額	伸 率	寄 与 度	増 減
輸 出	増加	(1) 自動車	★ 5兆0,147億円	+3.4%	+1.0	5年連続の増加
	減少	(1) 自動車の部分品	1兆8,775億円	▲10.4%	▲1.3	2年ぶりの減少
輸 入	増加	(1) 通信機	★ 1,169億円	+42.3%	+0.5	4年連続の増加
	減少	(1) 原粗油	4,755億円	▲20.1%	▲1.6	3年連続の減少



★名古屋港について・・・
本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。